

令和元年度 第1回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和元年5月31日(金) 9:30~11:30

ところ ほっとプラザ5階 軽スポーツ室兼会議室

出席者 委員 後藤会長、元家副会長、氏原委員、延味委員、齋藤(美)委員、嶋田委員、高谷委員、田邊委員、永山委員

岡山市 林都市整備局長、栗田都市・交通・公園担当局長、平澤都市整備局次長、桐野都市整備局参事監、番場道路部長、加藤道路計画課長、是友交通政策課長
事務局：都市企画総務課

○議 事

道路事業に係る再評価について(都市計画道路下中野平井線)

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 本路線を整備することで、国道30号などで新たな渋滞が発生しないか。

(回答) 将来交通量予測によると、富田交差点から大雲寺交差点までの間で約4,400台/日減少するという結果となっている。

(意見) 中区側には、小学校や保育園があるため、交通量が増加するなどの情報共有を行ってほしい。

(回答) 了解した。

(意見) 道路の計画高さはどれくらいか。浸水する恐れはないか。

(回答) 取合い道路との関係から、現況高さと変わらないが、橋梁部に向かっては縦断的に高くなる。浸水のリスクは変わらない。

(意見) 残っている5%の用地取得は難航しているのか。早期整備を望む。

(回答) 難航しているものもあるが、継続して交渉を行うことで、事業を推進していく。

(意見) 人中心の交通体系実現のために、スピード感をもって事業を実施してもらいたい。

(回答) 了解した。

○審議結果 ・現計画を継続する市の対応方針は妥当である。
・早期完成を望む。

○議 事

路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場整備事業に係る事前評価について

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 交通への影響について

・駅前交差点では、バスが通行できる信号の青時間が短縮となる、また、渋滞の懸念もしているので、バス利用者への影響は避けていただきたい。

- ・交通の検証として、実証実験を行ってほしい。
- (回答) 駅前広場のレイアウト変更や県庁通り一車線化、周辺の再開発の影響を実証実験では再現できないと考えている。
こういったことを再現することが可能であり、精度の高い検証方法として、交通シミュレーションを採用した。
交通シミュレーションでは、著しい渋滞は発生しないという結果であったことから、バスへの影響はほとんどないと考えている。
- (意見) 地下街の補強について
- ・地下街の補強等のコストは、反映されていないのではないか。
- (回答) 現時点の想定で反映している。
現在、地下街の運営管理者に設計を依頼しており、今後、より詳細なものとなっていく。
- (意見) イベントについて
- ・安全にイベントのできるスペースが確保されているか。
- (回答) イベント等の利用がしやすいように、まとまった空間の確保や植樹の集約を図っている。
- (意見) 関係者への説明について
- ・利害関係者には、丁寧な説明をしていただきたい。
- (回答) 引き続き、丁寧な説明を続けていく。
- (意見) 広場の満足度について
- ・利用者の満足度は、便利であるということも大事だが、居心地の良さや気持ち良さによるところも大きい。
 - ・計画では、心地の良い広場にしようとしていることは感じるし、広場にもう少しいたいと思わせる工夫をしたデザインができたと評価している。
- (回答) ー
- 審議結果 申請内容について承認

以下余白